

安倍川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～先人の知恵に学び備える、静岡市街地を守る流域治水対策～

● 安倍川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短 期】 静岡市街地での重大災害の発生を未然に防ぐため、河道掘削、堤防整備、本川の侵食対策、流域貯留浸透施設の検討等を実施する。あわせて、被害軽減のため、二線堤の維持、立地適正化計画の検討等を行うことともに、マイタイムライン、住民の意識向上に向けた水防災教育教材の作成を実施する。

【中 期】 河道掘削と合わせ、静岡市街地における侵食破堤のリスク軽減を図るため、安倍川本川下流部及び藁科川の侵食対策を実施。あわせて、被害軽減のため、二線堤の維持、安全なまちづくり(立地適正化計画に基づき水害リスクの低い地域への住居誘導等)、マイタイムラインの有効活用を図るため、住民の意識向上に向けた水防災教育を実施する。

【中長期】 洪水を安全に流下させる断面の確保を図るため、河道掘削、藁科川における侵食対策の推進を図ると共に、流域全体の安全度向上を図る。あわせて、被害軽減のための取り組みをあらゆる関係者と一体となって推進する。

【事業費】

■河川対策

全体事業費 約78億円 ※1
対策内容 堤防整備、河道整備、侵食対策 等

■砂防対策

全体事業費 約173億円 ※2
対策内容 砂防施設の整備、森林保全 等

■下水道対策

全体事業費 約0.5億円 ※3
対策内容 下水道施設の耐水化 等

※1:直轄及び各水系の河川整備計画の残事業費を記載
※2:直轄砂防事業の残事業費を記載
※3:流域治水における下水道事業計画の残事業費を記載

【ロードマップ】

区分	対策内容	実施主体	工程		
			短期(R2～R7)	中期(R8～R12)	中長期(R13～R19)
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	直轄区間における市街地等を守る河道掘削、堤防整備、侵食対策	静岡河川事務所	堤防整備 河道掘削 本川の侵食対策	堤防整備 河道掘削完了 藁科川の侵食対策	堤防整備完了 藁科川の侵食対策
	指定区間における市街地等を守る護岸整備 等	静岡県		護岸整備完了	
	砂防施設等の整備	静岡河川事務所 静岡県		砂防施設等の整備	
	下水道施設の耐水化の取り組み	静岡市		施設配置等の計画策定	
	流域貯留浸透施設の検討	静岡市			下水道施設の整備 流域貯留施設の検討
	森林の整備・保全	森林整備センター 静岡県			
被害対象を減少させるための対策	二線堤の維持	静岡河川事務所			
	静岡市立地適正化計画への反映	静岡市		立地適正化計画に基づく防災指針の作成	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	マイタイムラインの活用	静岡河川事務所 静岡県、静岡市		マイタイムラインの作成	マイタイムラインの実行・更新
	水防災教育教材等を活用した、小中高等学校等への水防災授業の実施	静岡河川事務所 静岡県、静岡市		水防災教育教材の作成	水防災教育の実施
	発表の対象区域や避難の切迫性等が首長や住民に確実に伝わる洪水予報文、伝達手法の改善	静岡河川事務所 静岡地方気象台			
グリーンインフラの取組	砂礫河原の保全・創出	静岡河川事務所		砂礫河原(鳥類営巣地)の保全・創出	砂礫河原(鳥類営巣地)の保全
	ワンドの保全・創出	静岡河川事務所			ワンド(環境学習・魚類産卵場)の保全・創出
	水際環境の保全・創出	静岡河川事務所			貴重な種の保全
	景勝地等の景観の保全	静岡河川事務所			景勝地当の景観の保全(木枯らしの森、舟山)
	河川の連続性の回復	静岡県			河床低下対策による河川の連続性の回復

気候変動を踏まえた
更なる対策を推進

点線:策定、検討
実線:施工、運用

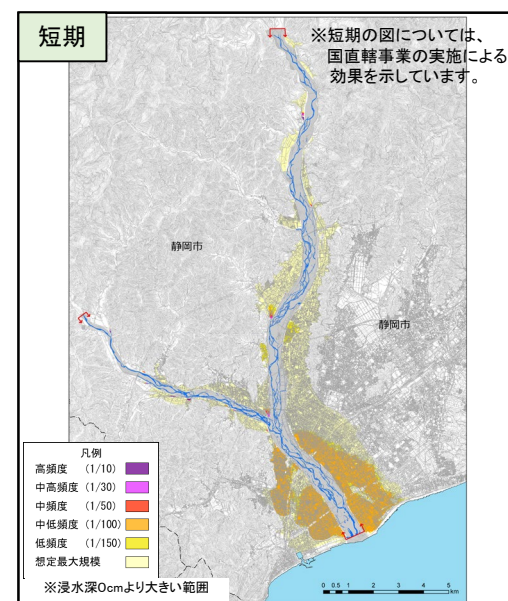
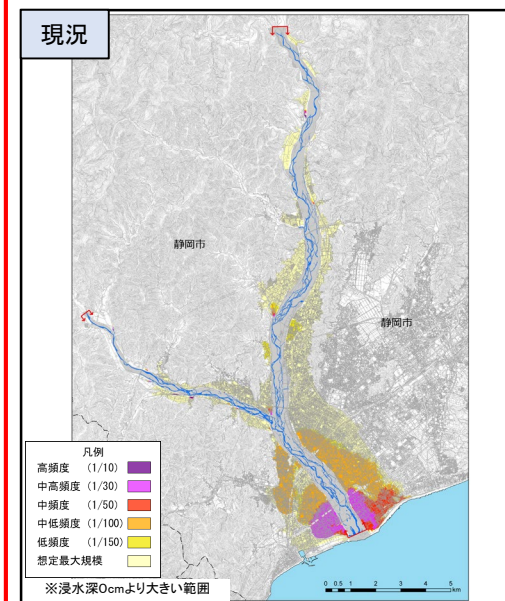
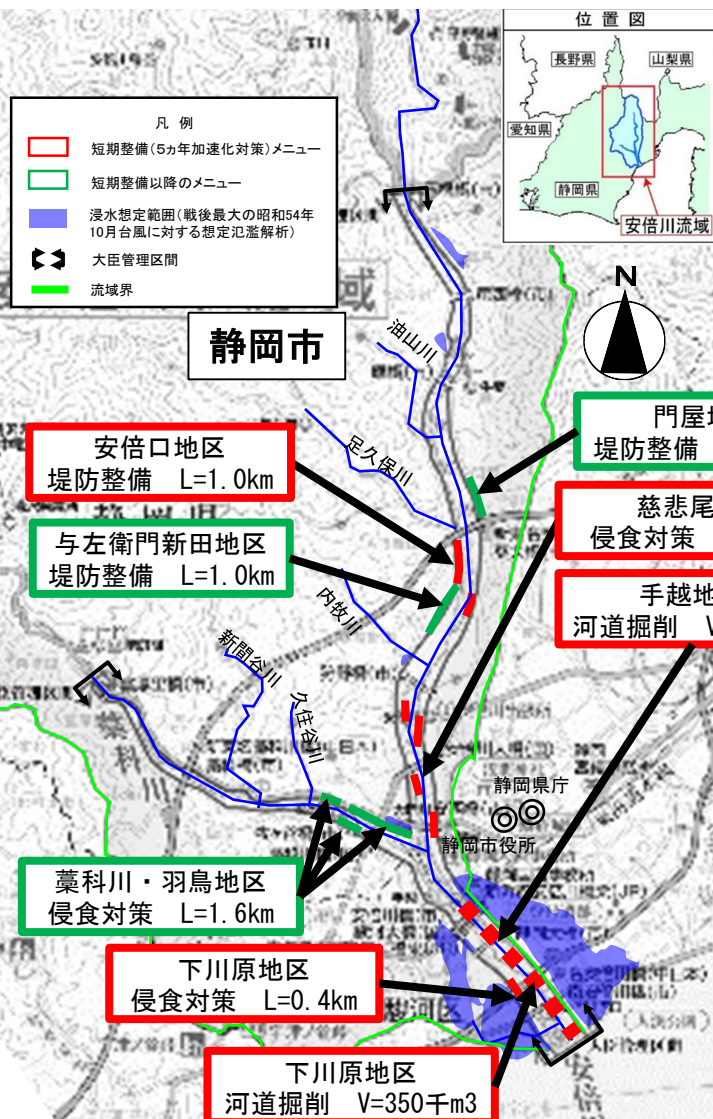
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

安倍川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～先人の知恵に学び備える、静岡市街地を守る流域治水対策～

- 下川原・手越地区の河道掘削および安倍口地区の堤防整備事業、河岸侵食対策のR7完了に伴い、S54.10月洪水規模（観測史上最大流量）の洪水でも直轄管理区間でHWL以下で安全に流下させることが可能。
- 静岡市街地における侵食破堤のリスク軽減を図るために、安倍川与左衛門新田・門屋地区および藁科川においても河岸侵食対策に着手する。

短期整備（5カ年加速化対策）効果：河川整備率 約91%→約93%



※外水氾濫の氾濫想定範囲は、侵食・漏水破堤の影響および出水中の河床上昇による影響は含まれません。
 ※外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合があります。
 また、この確率以下の洪水においても、侵食等により破堤する恐れがあります。
 ※本資料は調整中のものであり、今後変更が生じる可能性があります。

短期（当面5カ年）及び短期以降の事業スケジュール

対策内容	地区	短期 (R3～R7年度) 1/10以上～1/50以上(※1)	中期 (R8～R12年度) 1/50以上～1/50以上(※1)	中長期 (R13～R19年度) 1/50以上～1/50以上(※1)
河道掘削	手越地区	18% → 100%	100%	
	下川原地区	16.4% → 100%	100%	
堤防整備	依沢地区	0% → 100%		
	安倍口地区	78% → 100%		
	与左衛門新田地区		0% → 100%	
	門屋地区		0% → 100%	
侵食対策	安倍口地区	0% → 100%	100%	
	慈悲尾地区	50% → 100%		
	下川原			100%
	藁科川			

・スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合があります。
 ・安全度は、上図に記載されている確率を転記したものです。(※1)

短期整備完了時の進捗

手越地区 河道掘削
100%

下川原地区 河道掘削
16%→100%

依沢、足久保地区 堤防整備
0%→100%

安倍口、慈悲尾、下川原地区 侵食対策
0%→100%

安倍川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～先人の知恵に学び備える、静岡市街地を守る流域治水対策～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率：93%

（概ね5年後）

農地・農業用施設の活用



0市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



3施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 **7箇所**
（令和4年度実施分）

砂防関連施設の
整備数 **0施設**
（令和4年度完成分）
※施行中3施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 **4河川**

（令和4年9月末時点）

※一部、令和4年3月末時点

内水浸水想定
区域 **0団体**
（令和4年9月末時点）

高齢者等避難の
実効性の確保



避難確保
計画 洪水 **792施設**
土砂 **215施設**

（令和4年9月末時点）

個別避難計画 **1市町村**

（令和5年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策



整備イメージ（堤防整備）



整備イメージ（河道掘削）

堤防の高さ・断面不足箇所の整備や河道掘削の実施により河川整備計画の目標流量を安全に流下させる。また、侵食破壊リスク軽減を図るため水制工による侵食対策を実施。

被害対象を減少させるための対策

二線堤の維持



巡視による二線堤の点検



令和3年度陸閘操作訓練

古くは洪水から駿府の町を守るために山から川に向け堤防（霞堤）を築いてきたが、現在締め切られた霞堤は二線堤として存置している。二線堤は、氾濫流の下流域への拡散を防止し被害を軽減させる機能を有するため、巡視などを通じ適切な維持管理に努めている。

二線堤に設置された13箇所の陸閘については、緊急時に備え確実に閉鎖できるよう、年1回静岡市と協同して操作訓練を行っている。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

水防災教育学生サポーター制度の活用

水防災教育授業の更なる促進及び学校と地域が協働した継続的な学校水防災教育を目的に、令和3年9月に創設。

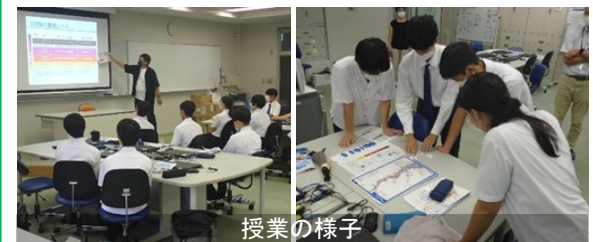
学校水防災教育を通じて、子供たちの水防災意識の形成と主体的に避難行動をとれる人間を育成し、地域全体で水防災意識を持つことを目指す。

島田商業高校で制度を活用し授業を実施 （令和4年8月）



授業の様子

駿河総合高校で制度を活用し授業を実施 （令和4年9月）



授業の様子